

相原茂・荒川清秀・大川完三郎・杉村博文編

# 中国語類義語の ニュアンス

(はじめに全文)

東方書店

● 1 ●

相原茂・荒川清秀・大川完三郎・

杉村博文 編

中国語類義語のニュアンス

(はじめに全文)

東方書店

中国語の手頃な辞書を作ろう。それもいいやつを。そう思ったのはもう10年以上も昔のことである。東方書店に話したら、「やりましょう」二つ返事で同意してくれた。安井正幸会長がお元気な頃である。

スタッフもそろい、まずは辞書に欠かせない「類義語の弁別」から始めよう。そう考えて雑誌『東方』に第1回の連載を始めた。1987年1月のことである。何故、辞書をつくるのにまず類義語なのか、そのへんのことは覚えていないが、忘れもしない連載第1回目は“颯、粒”である。“颯”も“粒”も小さな粒。別に小さなところから始めようと思ったわけではないが、辞書づくりにむけたささやかな第一歩であった。

それから9年、連載はすでに100回を越え、いまなお継続中である。初めは「水」とか「秀」「O・M」「と」などというペンネームとも付かない匿名ではじめたのだが、別に秘め事でもないし、そのうち文章の終わりに署名をするようになった。やがてタイトルの脇に堂々と名前を載せ、文末には所属も明記するようになった。「水、秀、O・M、と」というのはわれわれ編者四名である。

類義語辞典は日本にも中国にもある。ただ、我々の言う類義語は、要するにちょっと紛れやすいところのある表現なら何でもいい、とり上げようということにした。類義語というより類義表現である。

単語に限らず、形態素だって、フレーズだって構わない。例えば“～服”と“～衣”と“～装”という形態素の違いだっていいし、“坐车”と“上车”というフレーズの異同も知りたい。扱われていないが例えば“哪儿的话。”と“哪里哪里。”のようなセンテンスだって構わない。中国人に言わせればどうして“走”と“去”が類義語なのか理解に苦しむという。それはそうだろう。全くちがう二つの語だ。しかし、我々日本人にとって少しでも気にかかる場所があればそれはとり上げるに値するものと考える。

● 2 ●

相原茂・荒川清秀・大川完三郎・  
杉村博文 編

中国語類義語のニュアンス  
(はじめに全文)

東方書店

それに語のなわばりというか、同じ類義語グループ内でのそれぞれが占める領域が分からないといけない。ゆえに、二つではなく、三つ、四つとグルーピングしても構わない。

顆粒状の小さな連載であるが、ささやかな知識も 100 集まれば一冊の本になる。チリのようにこつこつ貯めてゆくのがふさわしい知的情報もある。執筆者は計 24 名、「類義語は忘れた頃にやってくる」。三年に 2 回ぐらい打席が回ってくる。うまくヒットを打てたときもあるし、その時の調子で不発だったと思えるときもある。一書に収録するにあたっては編者 4 名が、おもに体裁や用語の統一をはかるために、分担して目を通した。

辞書はまだ影も形もないが、『類義語のニュアンス』はこうして日の目を見た。こういう本が 3 冊ぐらいできれば目標とする辞書づくりに役立つのではないかと思うが、これも言うは易く、実行するのは大変そうである。

連載のはじめから担当してくれた編集部の加藤浩志氏は、そもそも辞書編集要員として入社したと聞いている。その彼も 30 半ばを越えた。そろそろ当初の予定どおりの仕事をしていただかなくてはいけないのだろうかとも思っている。

1995 年秋

編 者

相原茂・荒川清秀・大川完三郎・

杉村博文 編

中国語類義語のニュアンス

(本文サンプル)

東方書店

## 爱 喜欢

ài xǐhuan

“爱”と“喜欢”の、後ろに動詞句、形容詞句を伴うときの違いをみてみよう。

まず、(1) “爱 VP” は、“喜欢 VP” とは違い、単に好きだけでなく、実際に動作が経常的に起こっている。だから、例①のように、“但是不常打” が続き得ない。

① \*我爱打棒球，但是不常打。(僕は野球が好きでよくするが、あまりしない)

②我喜欢踢足球，但是不常踢。Wǒ xǐhuan tī zúqiú, dànshi bù cháng tī. (僕はサッカーが好きだが、あまりしない)

一方、“喜欢”は、単に「好きである」という精神的指向を表わし、動作発生の有無には関心がない。それで、②は成立する。この両者の違いは、(2)、(3)からも裏付けられる。

(2) 動作が経常的に、よく発生することを表わす副詞“总”，“老”と，“爱”は共起するが，“喜欢”は共起しない。

③我总(老)爱看电影。Wǒ zǒng (lǎo) ài kàn diànyǐng. (私は、映画が好きで、いつもよく見る)

④ \*我总(老)喜欢喝酒。(私は、いつもお酒を飲むのが好きだ)

(3) “爱 VP” は“毛病”(くせ)の連体修飾語になるが，“喜欢 VP” はならない。

⑤他有爱学舌的毛病。Tā yǒu ài xuéshé de máobìng. (彼は人の口まねを好んでするくせがある)

⑥ \*他有喜欢学舌的毛病。(人の口まねが好きなくせがある)

動作の経常的発生なくして、“毛病”(くせ)にはなり得ない。“喜欢”を用いた⑥は成立しない。

また、(4) “爱漂亮”(おしゃれだ)，“爱干净”(きれい好きである)の状態にするよう行動してこそ“おしゃれ”であり、“きれい好き”である。

そして、このような“爱”の動作への積極的な関与が、(5) 動作が発生しやすいこと，“よく～する”，“～しがちだ”という意味をもたらす。

⑦这两年他又特别爱笑。Zhè liǎng nián tā yòu tèbié ài xiào. (この2～3年彼はまた特によく笑う) (孫观懋《“天”灾不算祸》)

“爱笑”の他に，“爱哭”(よく泣く)，“爱闹病”(病気がちだ)等がある。

これらに、もはや“好きでそうする”という意味はない。

最後に(6) 問いに対する答えとして，“喜欢”は単独で用いられるが，“爱”は、必ず後に動詞を要求するのは、実は、以上のような，“爱”と“喜欢”の動作へのかかわりかたの違いを反映しているのである。(原由起子)